

東北海区沿岸水温予報(2001年)

海域	経過 (1~5月)	現況(5月中旬~ 6月上旬)	見通し (7~9月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水試発表)	津軽暖流域の水温は概ねやや低め~ 平年並 津軽暖流の東方への張り出しはやや強め~ 平年並	沿岸定地水温は概ね平年並~ やや高め この期間,定線観測なし	津軽暖流域の水温は表面はやや高め,それ 以深は平年並. 津軽暖流の東方への 張り出しは平年並.	4~6月の対馬暖流はかなり強 めから平年並に戻る(太平洋 側への影響 2~3ヶ月程度 後).6月の対馬暖流域水温は 表面はやや高いものの,中層 は平年並.気象庁発表の夏季 予報では海面水温はやや高 め,対馬暖流・親潮の勢力は平 年並	海藻類(コンブ・ワカメ)の繁茂 状況が比較的良好. 3月の定線観測で親潮域の水 深0~100mに0 以下の冷水 が観測.
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水試発表)	1月中旬頃より沿岸親潮水が本県沿岸部に 南下し,2月には5 以下の冷水が県中南部 に接岸した.3月に入り,同冷水は県北部から 金華山付近まで接岸の幅を広げた.1~3月 までは,県全域で低め~極めて低めで推移 した.4月以降は親潮の張り出しは弱まったも の,局所的に冷水が点在する形となり,平年 並~やや低めとなった.	10 海里以内は表面では 平年並,100m深は平年並 ~やや高め.10~70 海里 は親潮の影響を受けて, 表面・100m深ともに平年 並~やや低め.	10 海里以内は表面・ 100m深ともに平年並 ~やや低め基調,10~ 70 海里は表面・100m 深ともに平年並~やや 低め基調に推移する.	10 海里以内は,津軽暖流の 南下勢力及び親潮第1分枝の 南限位置が岸寄りに推移して いることに着目した. 10~70 海里は,平均気温が6~8月の 3ヶ月間において,平年並とし て推移した(定置網).また, コナゴ漁(棒受網)は年累計 分枝に連なる冷水が50m深か ら底層(300m深)まで鉛直的 に幅広く分布していることから, 今しばらく冷水が停滞するも のと考えた.	県内主要6港における水揚げ 状況(5月下旬現在) クロマグロが年累計で18トン の水揚げがみられ,前年の約 5倍と好調(定置網).春マス漁 は全体的に昨年に比べ,低調 に推移した(定置網).また, コナゴ漁(棒受網)は年累計 で48トンと低調となり,前年の 約3割に留まった.
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水試発表)	1~3月は親潮第1分枝の南下により,表面水 温・100m 深水温ともに2~8 低め.4月は沖 合からの暖水波及により,沖合海域で表面水 温・100m 深水温とも平年より2~4 高め,沿 岸海域では平年並~2 低め.5月に入ると 再び親潮第1分枝の影響を受け,北・中部海 域で平年より2~3 低め.	表面水温は,沖合北・中部 で平年よりやや低め~極 めて低め.黒潮系暖水の 影響を受ける沖合南部は 平年よりやや高め~極め て高め.100m 深水温は,沖 合北・中部で平年よりや や低め.黒潮系暖水の影 響を受ける沖合南部は平 年よりやや高め.	表面水温は平年並~ やや高め. 100m 深水温は,黒潮系 暖水の影響を受ける沖 合南部で平年よりやや 高め,他の海域では低 め~平年並で推移.	近海黒潮北限緯度は平年より 北偏傾向が続き,沖合南部に は今後も暖水が表面~100m 深にかけて残存すると考えら れる.親潮第1分枝に連なる冷 水が三陸沖に点在し,冷水がさ らに供給されている(ADCP よ り).表面は日射等で昇温すると 考えられるが,100m 深ではこ の冷水がすぐに消滅するとは 考えにくい.	3月に過去30年間記録の無 かった氷点下0 台の水を観 測.気仙沼でマダコが多数打 上げられた. 5月の沖合北部でルバックネッ トに刈入網.今期のイサダ漁場 はごく沿岸域(湾口部等)に形 成された.
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	1月:表層,下層とも単調な水温分布で推移. 2月~3月:東経142° 線に沿って冷水が南下 し,表層で0~2 台と,極めて低め.4月:低め 基調が継続し,前月より沿岸寄りに冷水が南 下.黒潮系水の北上弱く,南部で低め~極め て低め.5月:黒潮系水の勢力が強まり,高め ~極めて高め.	4月中旬以降,本県沿岸は 黒潮系北上暖水の勢力に 広く覆われた.県北部海域 のごく沿岸部でやや低め ~低めである以外は,高 め~極めて高めとなった.	水温は県南部海域で 沖合を中心に高め,県 中~北部海域で平年 並み~やや低め.	県南部海域は,黒潮系北上暖 水の勢力は平年より強めで推 移しており,今後昇温の時期に 入るため,県中~北部海域は, 親潮系冷水の勢力が平年並 時的な波及が見込まれる.	2~4月の異常冷水. 4月下旬以降,オキアミ漁場の 形成がみられず,低調. 5月中旬~下旬,曳釣によるカ ツオ漁場がいわき海域に形 成.
常磐南部 ~鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	1月:沿岸域に暖水舌が,常磐南部の沖合域 に黒潮からの暖水が波及していた.常磐南部 沖(141°15'E 付近)に親潮系冷水の差込が みられた.2月:沿岸域に暖水舌が形成され ていた.親潮系冷水(1 台)が常磐南部沖ま で南下した.3月:欠測 人工衛星画像から 親潮系冷水は県中央部まで南下していた.鹿 島灘に暖水舌が形成されていた.4月:黒潮 は沖合域に存在し,沿岸域に暖水が波及して いた.黒潮の張り出しにより親潮系冷水は塩 屋崎沖まで後退した.5月:黒潮は本県沖を北 上し,黒潮系暖水に広く覆われていた.	6月:黒潮は本県東方沖 を北上し,黒潮から派生し た反流に広く覆われてい た.	水温は平年並~高め で推移する.	黒潮流路は常磐~鹿島灘沖 で東西に変動するが,北限位 置がやや北偏していること,黒 潮系暖水に広く覆われている ことから今後も高め基調で推 移すると考えられる.	最低水温(1 台)を観測した(2 月).4月中旬に黒潮の勢力が 急に強まり,親潮系冷水が福 島県沖まで後退した.5月中 旬に黒潮が接岸し,最高水温を 観測した. ヤリイカが豊漁であった(2月 底曳き網).カタクチイワシが豊 漁であった(4~5月まき網).マ シラス・サバ幼魚・コマセの混 じりが多かった(5~6月船曳 網).タイが不漁であった(5~6 月流し網).

各階級の水温年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い (7.5%)	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	4.0~+5.9	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	+2.5~+3.9
やや高い (20%)	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	1.5~+3.9	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	+1.0~+2.4
平年並み (40%)	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	1.4~-1.4	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	+0.9~-0.9
やや低い (20%)	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	1.5~-3.9	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	-1.0~-2.4
低い (7.5%)	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	4.0~-5.9	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	-2.5~-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~